



# 田村市立都路中学校

## 学校だより 第13号

令和7年7月4日（金）  
発行責任者：校長 佐藤 仁  
TEL：0247-75-2009

めざす生徒像：自らの志を語り、目標に向かって主体的に努力できる生徒

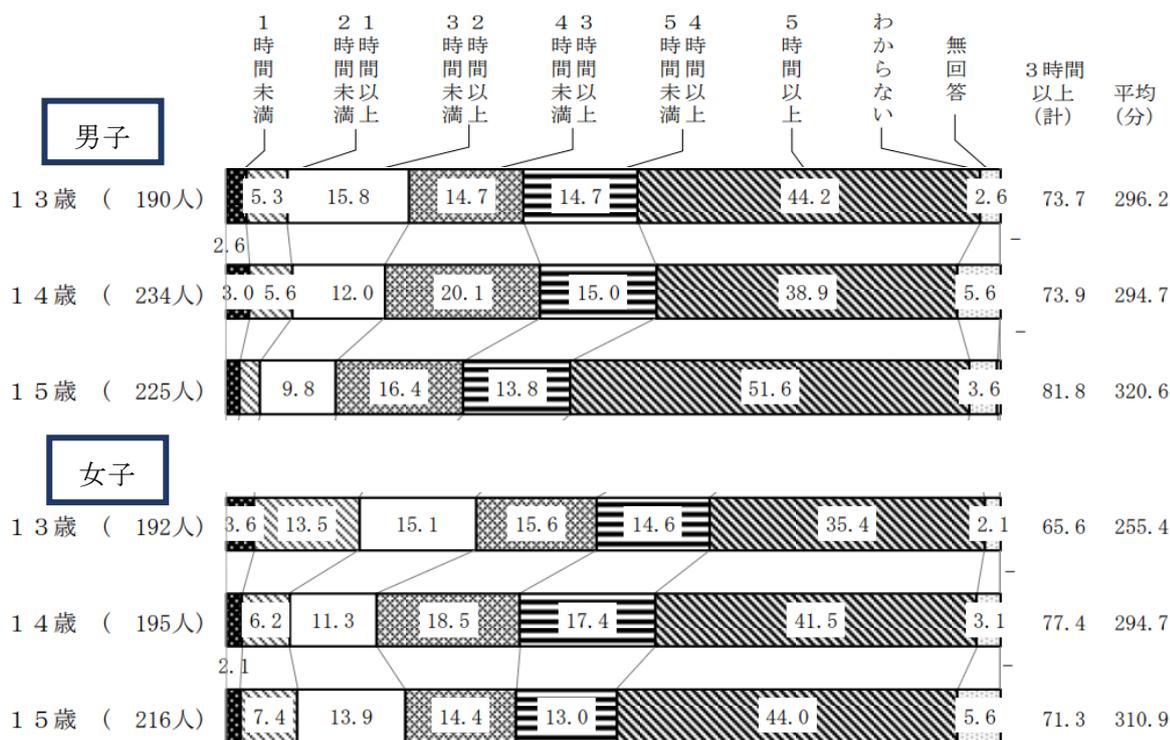
めざす学校像：志を育む学校      学び合い、高め合う学校      信頼され、愛される学校

### いつやるの？

定期テストの結果を見て、満足した人、納得した人、悔しさを感じた人、様々かと思えます。一番避けたいのは、結果を見ただけで、反省しない、振り返りをしないことです。大事なことは、今回の結果をしっかりと受け止め、次回のテストに向けて改善すべきことを考え、小さなことでもできるところからこつこつと変えていくことです。

生徒の皆さんの学習への障害（あえて障害と書きました。勉強中のストレス発散など、前向き・建設的にスマホを使用している人もいると思えます）になっているものは何でしょうか。スマホやオンラインゲームなどを否定することはできないと思えます。

次のグラフは子ども家庭庁が令和6年3月に実施した「青少年のインターネット利用環境実態調査」の報告書から引用したインターネット（利用機器の合計）利用時間です。

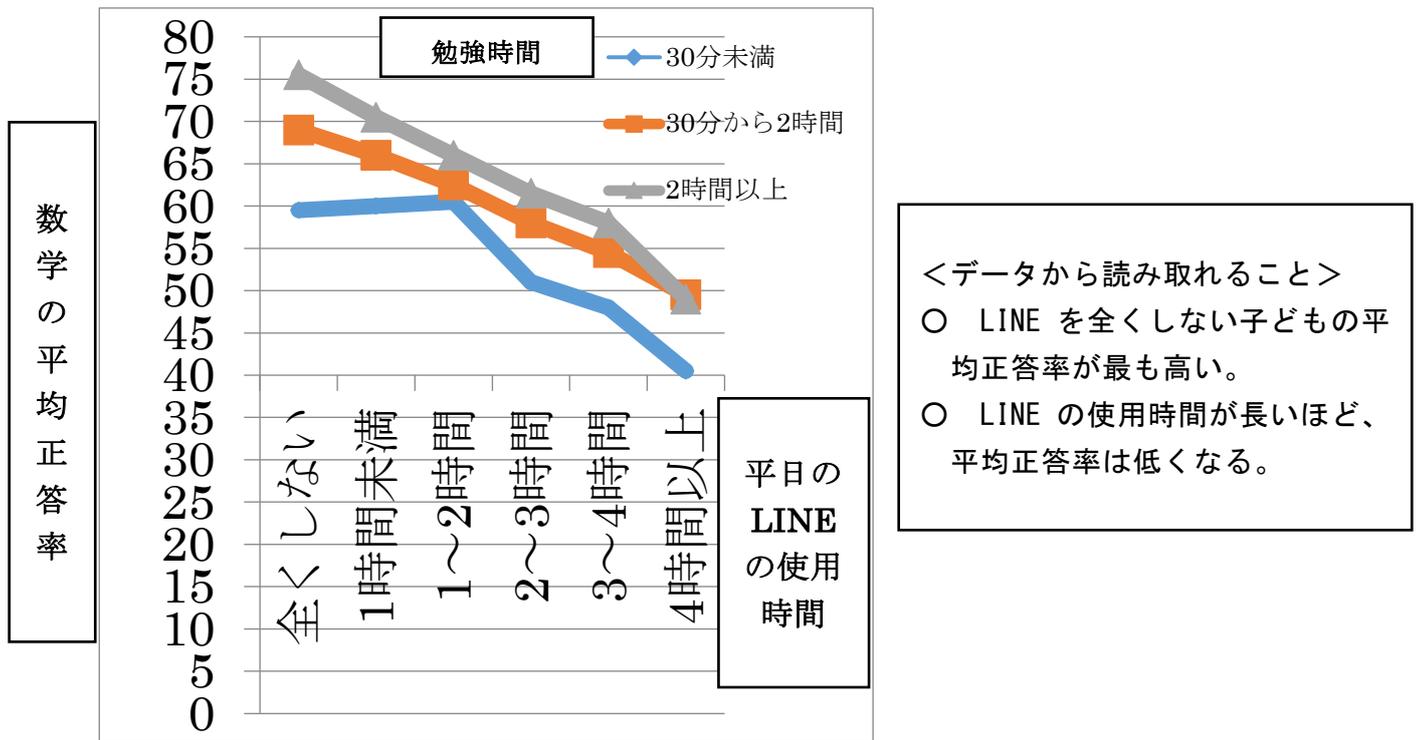


3時間以上インターネットを利用している割合の高さに驚かされます。インターネットの利用を否定するつもりは毛頭ありません。生活を豊かにするツールとして欠かさせないものです。しかし、長時間インターネットを利用することが、中学校卒業後の進路や生活に少なからず影響を与えることは間違いありません。情報化社会をどう生きるか。様々な情報を上手に活用し人生のプラスとするのか、あふれる情報やゲームに翻弄されたり本来やらなければならないことから目をそらしたりして、後悔の多い人生を歩むのか。その選択は、生徒の皆さんにゆだねられています。皆さん自身の人生です。人のせいにはできません。どうすべきか、自分で考え、判断し、実行してほしいと思えます。

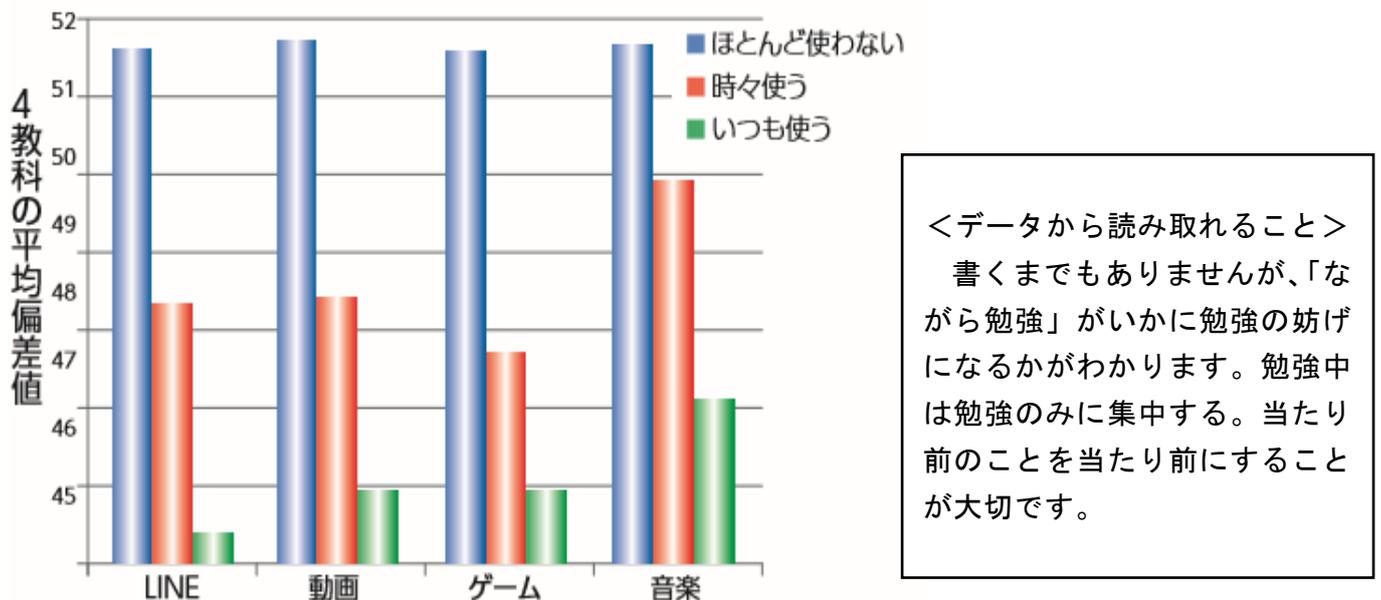
定期テストが終わった今、教育相談を控えている今、そして悔いの残られない夏休みにするために、ご家庭でスマホ等のルールについて改めて話し合っていたいただきたいと思います。

次は、令和5年度第2回都路地域学校保健委員会で「メディアが与える影響」というテーマで講話をいただいた大沼郡三島町教育委員会学校教育アドバイザー ネット健康問題啓発養成全国連絡協議会公式インストラクター 小杉一浩先生の資料の一部です。

### 【LINE の利用時間と数学の平均正答率との関係】



### 【勉強中に使用するアプリの種類・頻度と成績の関係】



中学校卒業後の進路実現のために、誰にでも平等に与えられている「時間」の使い方を工夫してほしいと思います。グラフからも分かるように同じ1時間の勉強でも、ながら勉強と純粋に勉強のみに集中する時間とではその質が違います。ながら勉強は、やった気になるだけで勉強内容の定着率は低いです。非能率的です。将来の自分にどれだけの時間的投資ができるか。決めるのは自分自身です。保護者の皆様には、お子様がやらなければならないことに十分時間をかけられるようにご家庭での励ましをお願いいたします。